

Global Energy Policy Research

GEPR (グローバルエネルギー・ポリシーリサーチ) は、日本と世界のエネルギー政策を深く公平に研究し、社会に提言するウェブ上の「仮想シンクタンク」です。この機関は、アゴラ研究所 (<http://agorajp.com/>、東京) が運営し、エネルギー問題についての研究と調査、インターネットでの情報提供、シンポジウムの開催、提言の作成、書籍の出版を行います。

今週のアップデート — 政治と原発、菅・小泉元首相の発言から (2013年11月5日)

GEPR編集部 · Tuesday, November 5th, 2013

アゴラ研究所の運営するエネルギーのバーチャルシンクタンクであるGEPR (グローバルエネルギー・ポリシーリサーチ) はサイトを更新しました。

今週のアップデート

- 1) 「原発は危険だ。だからゼロに」 — 菅元首相の発言から考える (上)
- 2) エネルギー・原子力政策はなぜ混迷したのか? — 菅元首相の発言から考える (下)

政策家の石川和男さんの主宰するネット放送「霞ヶ関政策総研チャンネル」で、菅直人元首相が出演しました。原発、エネルギーをめぐる自説を語り、また首相当時の政権の取り組みを説明しました。

それを客観的に伝えた後で、GEPRの編集者である、ジャーナリストの石井孝明が批判的に検証しています。

- 3) 小泉氏が希望を託す蓄電技術に未来はあるのか

池田信夫アゴラ研究所所長のコラムです。小泉元首相が最近、脱原発を熱心に主張しています。その鍵になる蓄電技術について、開発可能性の少なさを指摘しました。

- 4) 再エネ実践講座 — メガソーラー事業の展望

提携する国際環境経済研究所 (IEEI) の論考です。同研究所理事で、東京大学客員准教授でもある松本真由美さんが、エネルギーをめぐる講義について紹介しています。

今週のリンク

- 1) 小泉元首相、安倍首相らの「原発ゼロは無責任」に反論

小泉さんの脱原発論がエネルギーをめぐる話題になっています。ハフィントンポストが、詳報を出しました。感覚的な反論にとどまっているようです。

2) 除染の長期目標: 広がる見直し論 費用膨大で効果に限界

毎日新聞11月4日記事。IAEA（国際原子力機関）や政府内で、除染目標を1mSvとした政府の活動への疑問が広がっています。それをまとめた記事です。

3) 自民 福島復興加速の提言を了承

NHK11月5日。与党自民党は、除染、廃炉で国の関与強化を盛り込んだ提言をまとめました。まもなく、連立与党の公明党との調整の後で政府に提言します。しかし報道を見る限りでは、補償の範囲、そして除染や期間の基準について「線引き」をしていません。これは国費投入が拡大し続ける危険があります。

4) 米国、原発全従業員の身辺調査を要求 米公文書で秘密保護法で情報隠し拡大

しんぶん赤旗（日本共産党機関紙）、11月4日記事。米国が核テロを警戒し、日本に原発作業員の身元確認を要請。日本の文部科学省が、それを否定したものの非公式になら可能と返答していました。ウィキリークスの公電からです。議論を呼ぶ問題が、ある程度の確認はやむを得ない面があるでしょう。

5) 原子力問題を総合的に解決する 事業環境整備法策定を

ウェッジ、10月28日掲載。GEPR・アゴラの寄稿者である、澤昭裕氏の論考。政治の関心が、原発の推進でも、反対でも薄れています。特別法をつくることで、国の関与を明確にすることを訴えています。考えるべき視点でしょう。

This entry was posted on Tuesday, November 5th, 2013 at 2:00 pm and is filed under [アップデート](#), [コラム](#)

You can follow any responses to this entry through the [Comments \(RSS\)](#) feed. Responses are currently closed, but you can [trackback](#) from your own site.